

第23回 滋賀県税制審議会

琵琶湖森林づくり事業の実施による成果・琵琶湖森林づくり基本計画の指標への貢献について

委員意見①：事業実施により、どのような効果が上がっているのか検証が必要。

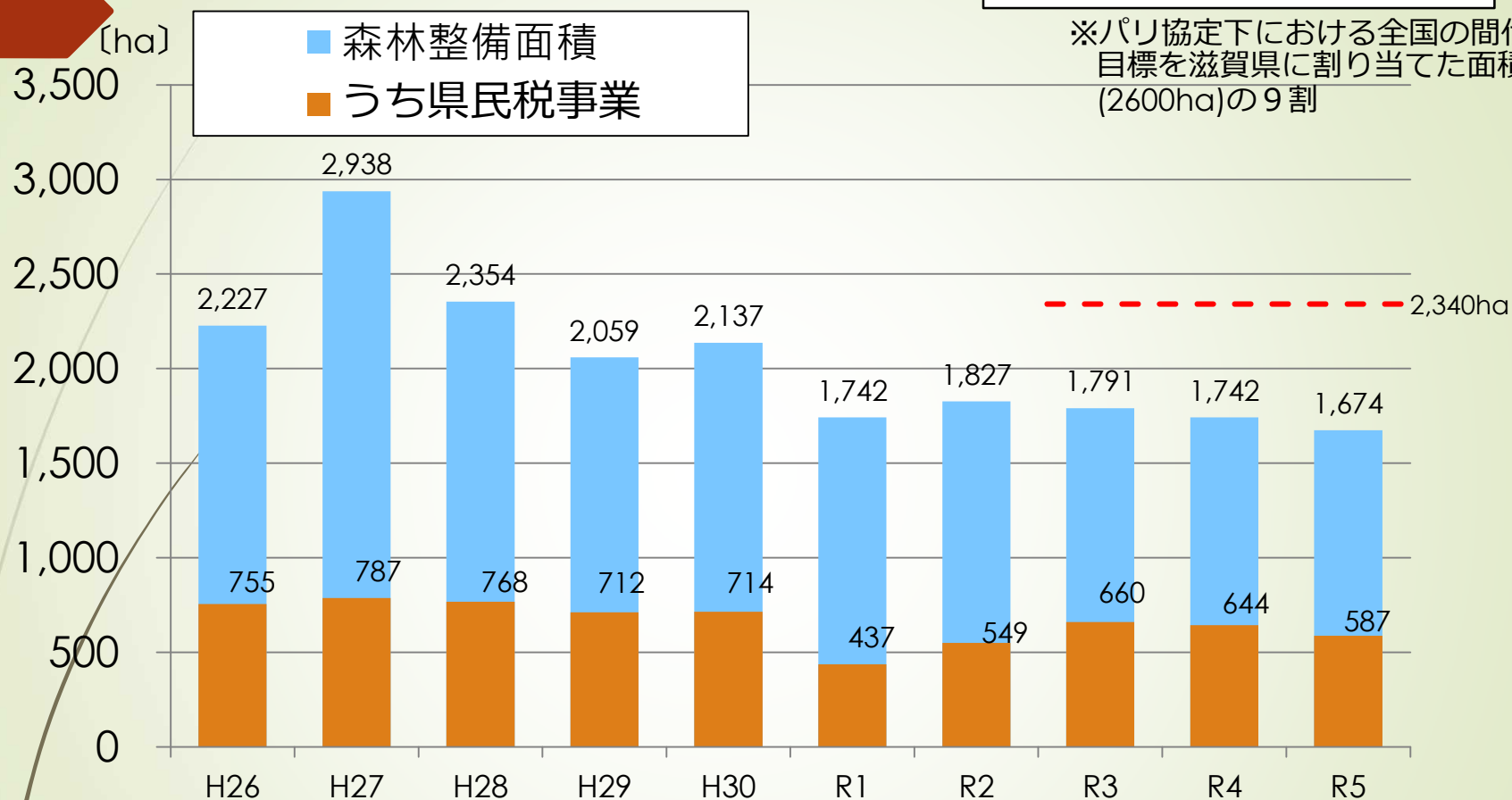
委員意見②：森林県民税が、森林基本計画で掲げてる目標にどのように貢献しているのか、また、その目標にどのくらい近づいているのか。

滋賀県琵琶湖環境部森林政策課

森林整備面積

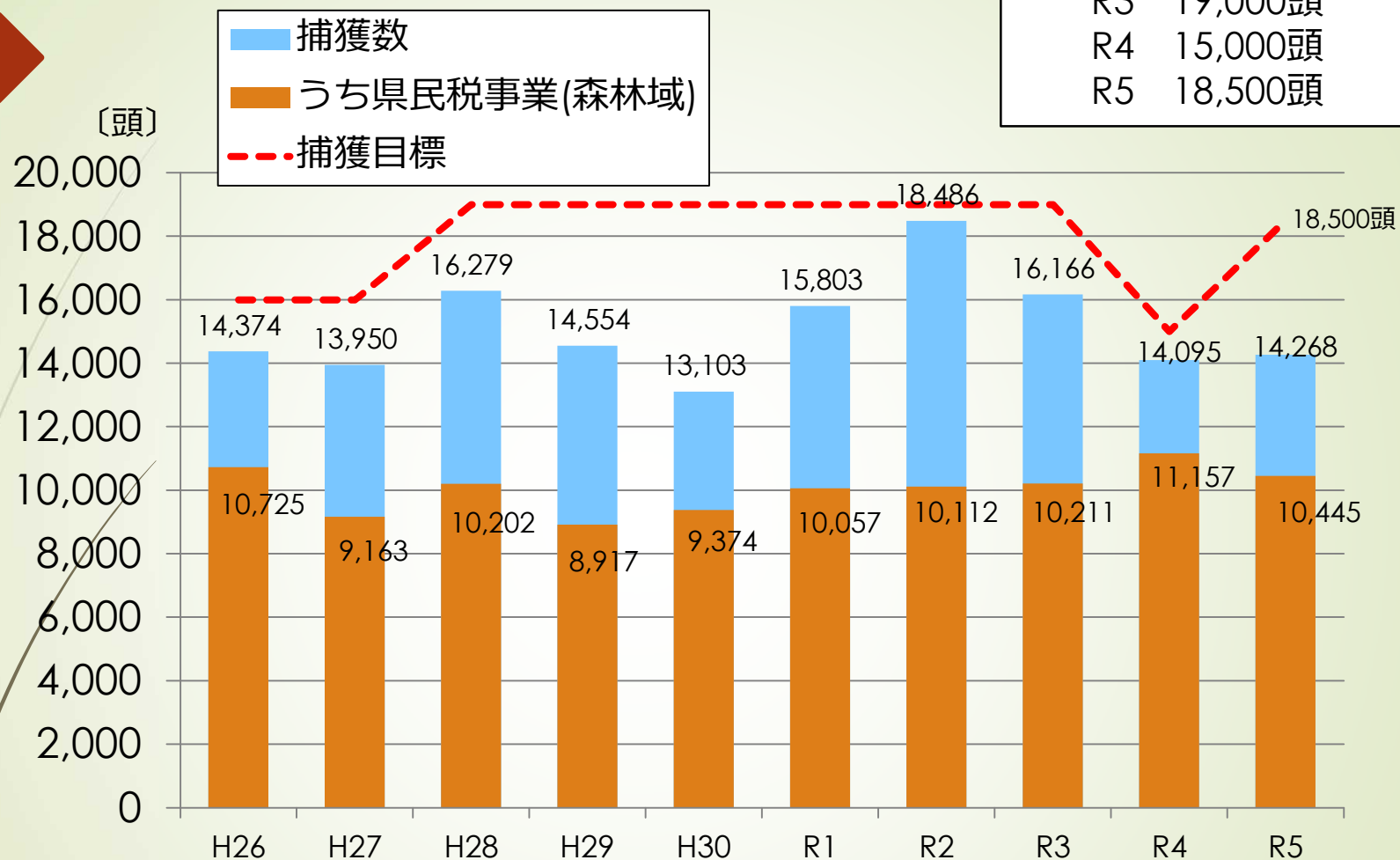
基本計画における目標値
2,340ha/年※

※パリ協定下における全国の間伐
目標を滋賀県に割り当てた面積
(2600ha)の9割



- 森林整備のうち、環境重視の視点に立った、環境林整備等について県民税事業により整備。
- 目標は未達成であり、森林の持つ公益的機能を維持・向上させるため、継続した森林整備が必要。
- 基本計画の目指す「除間伐を必要とする人工林に対する整備割合」に寄与

ニホンジカの捕獲頭数



捕獲目標値	
R3	19,000頭
R4	15,000頭
R5	18,500頭

- ・ 森林域での捕獲に対し県民税事業で助成
- ・ 基本計画の目指す「下層植生衰退度3以上の森林の割合」の改善に寄与

ニホンジカの推定生息頭数

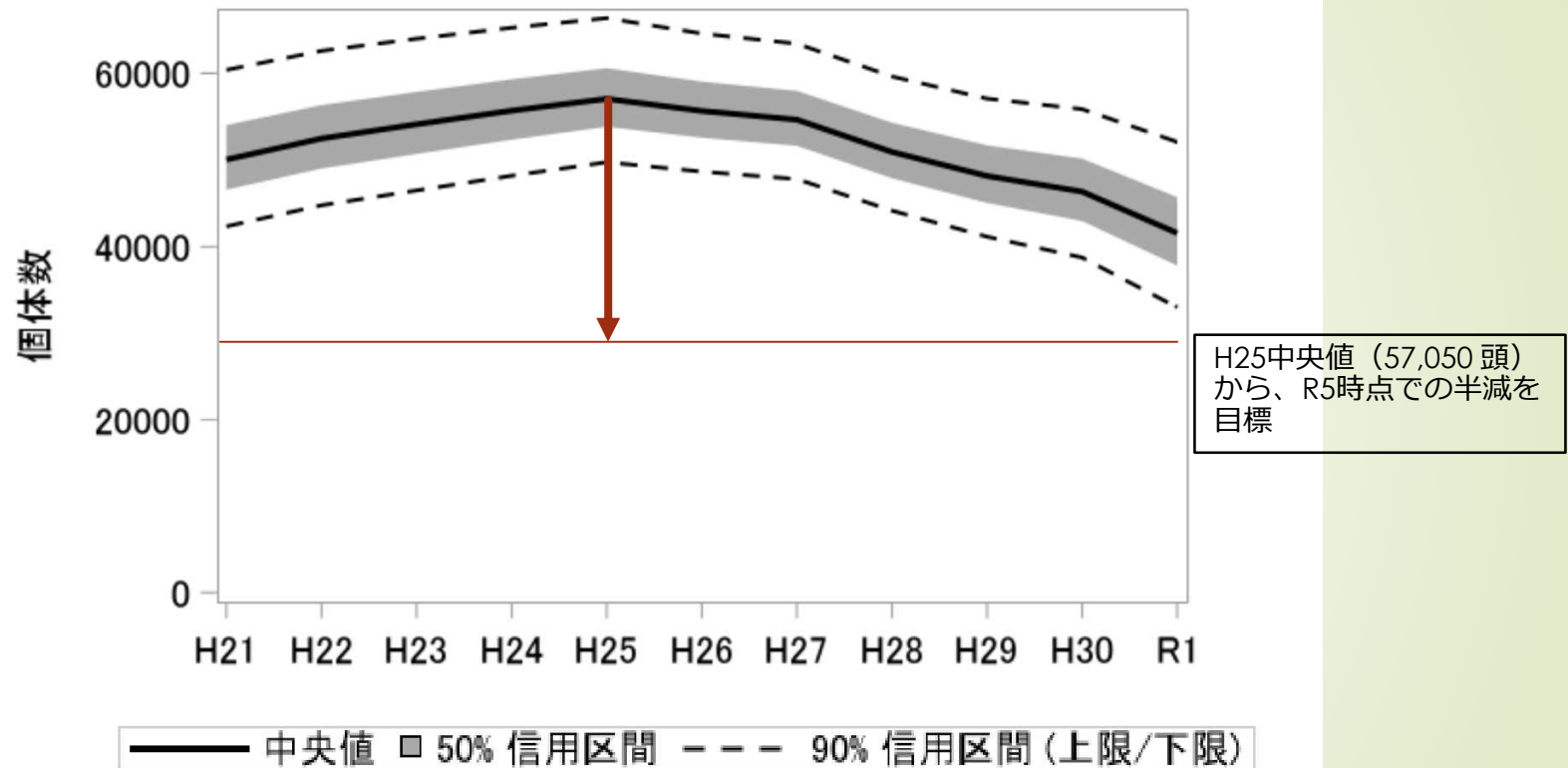


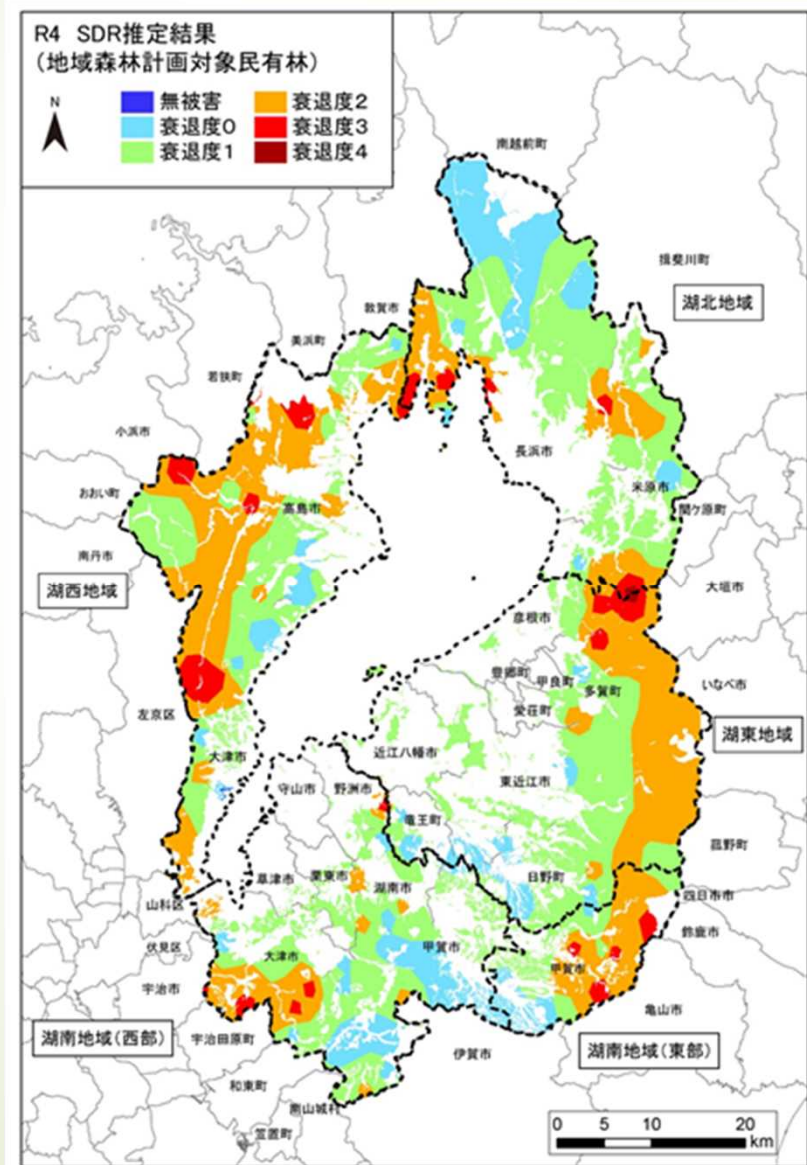
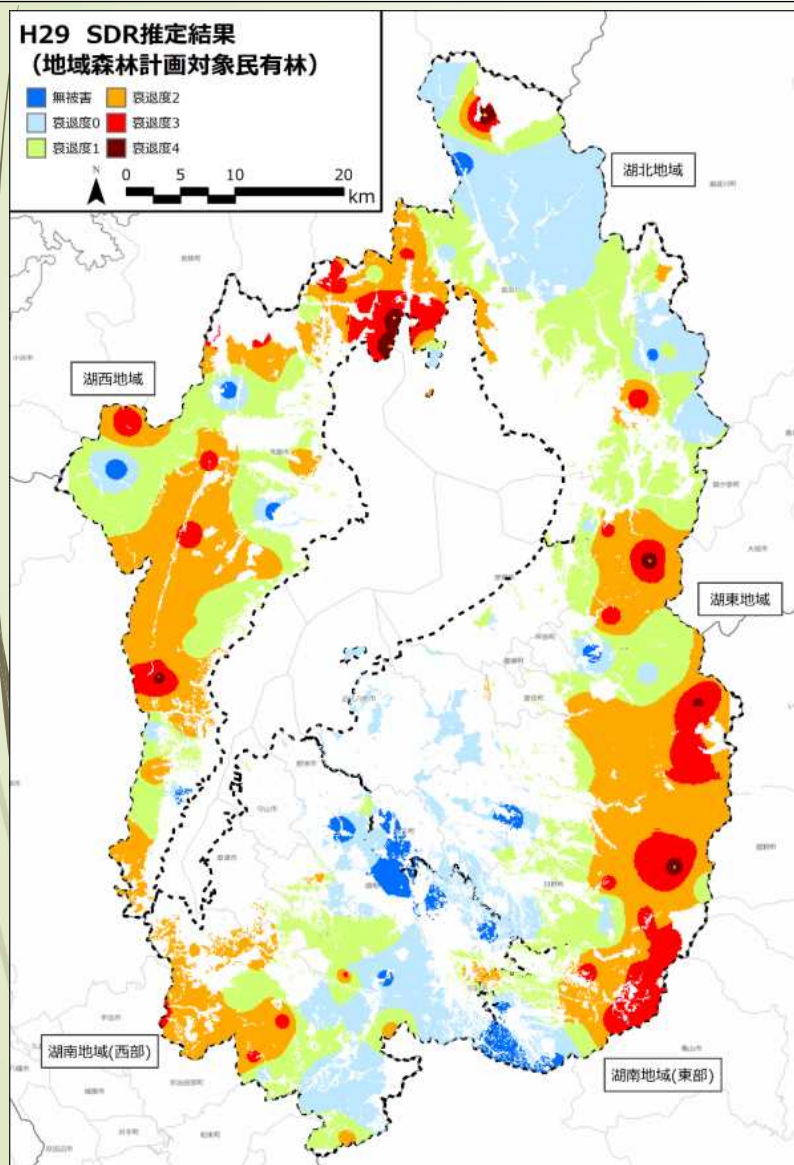
図 38 滋賀県全域における推定個体数

滋賀県ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第4次）R4.3

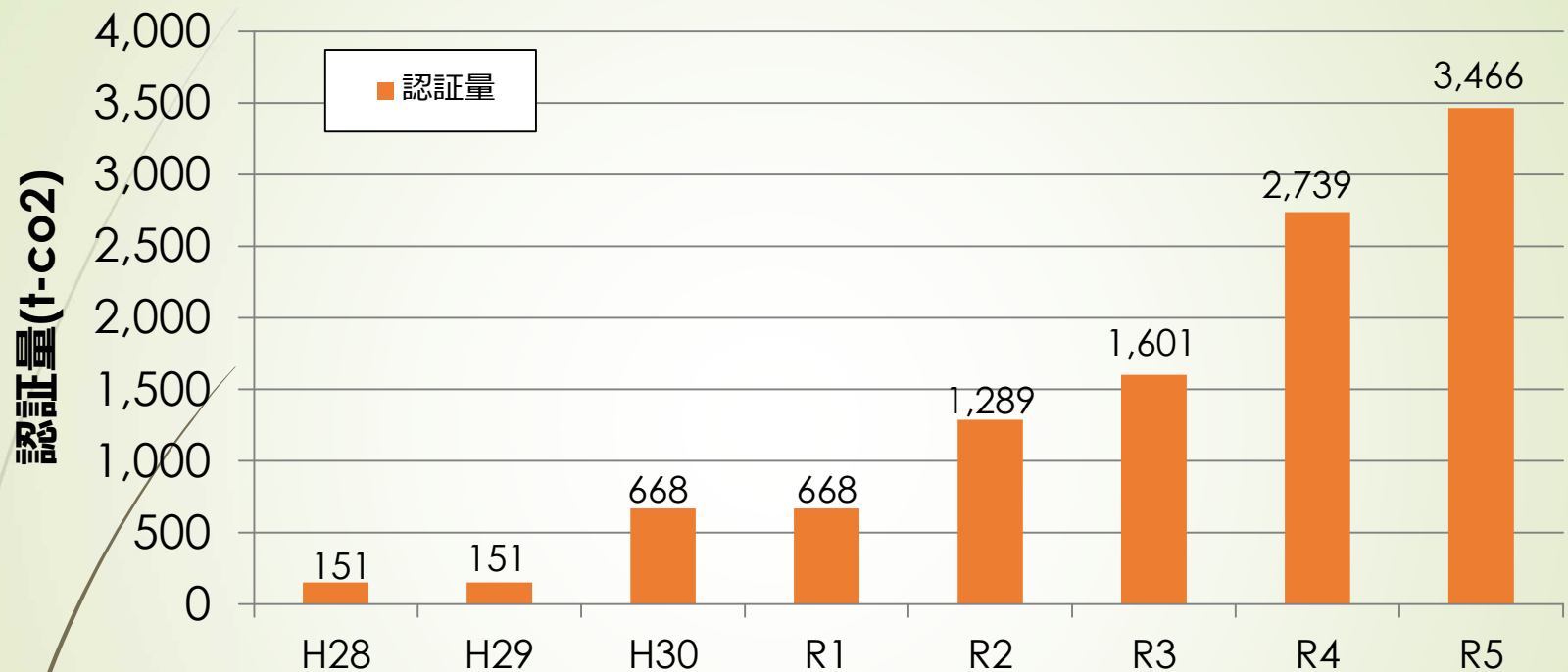
- 捕獲目標は未達であるが、捕獲の効果により、推定個体数は減少傾向にある。

下層植生衰退度調査結果

- 「下層植生衰退度 3 以上の森林の割合（R12目標：10%）」
H29：19%、R4：15% と、改善傾向にある。



県内のJ-クレジット（森林由来）認証量（累計）

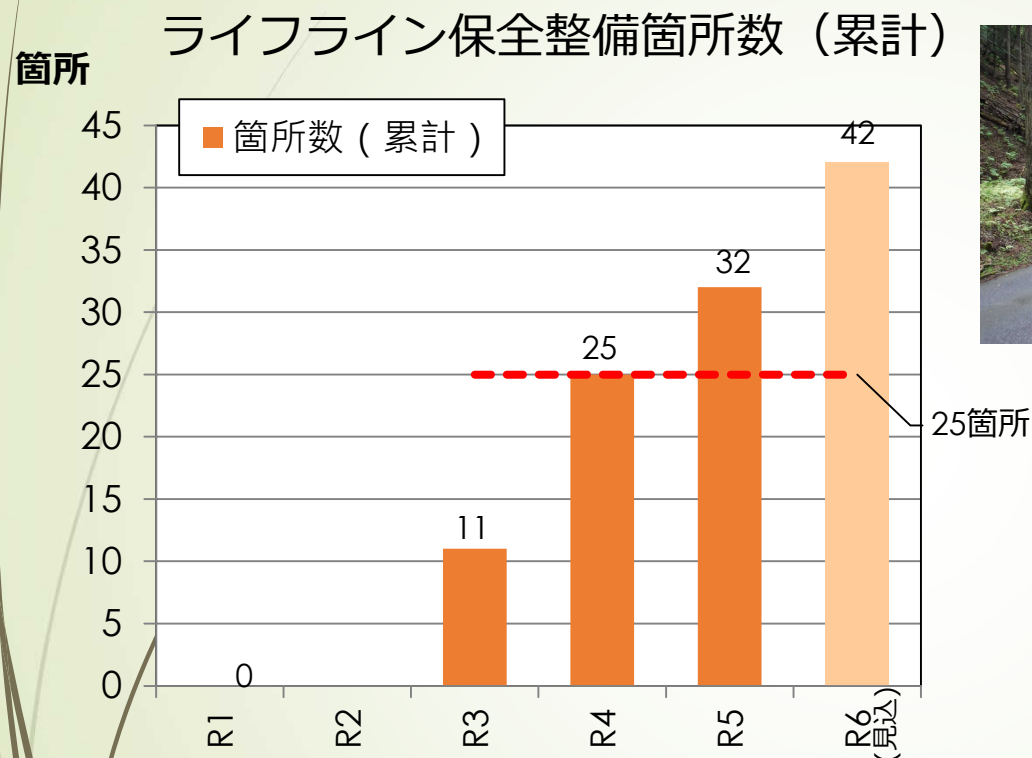


Jクレジット事務局公表資料

- ・ これまで3団体において、3,466t-CO₂が認証された。
- ・ この他、令和6年度に2団体で申請中
- ・ 令和4年度以降、県民税事業によりクレジット創出を支援

風倒木等被害対策のための予防的な伐採

基本計画における目標値
累計25箇所（R7末）



整備前

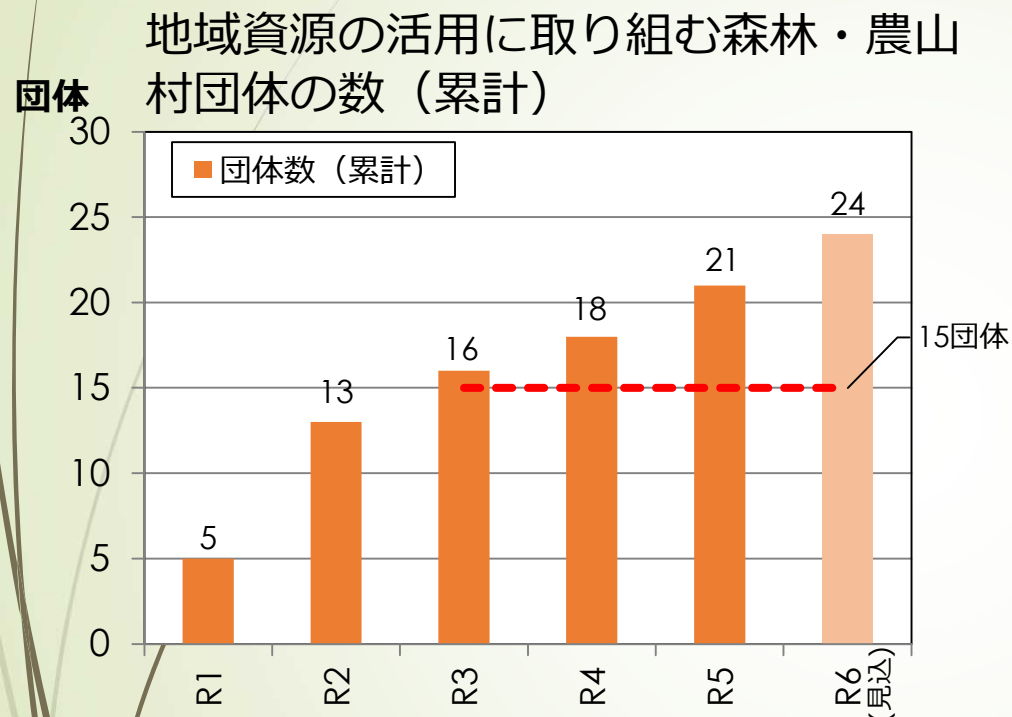


整備後

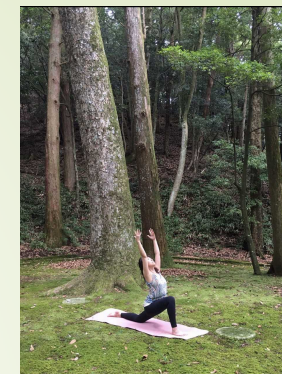
- ▶ 広域的な視点により、重要インフラ周辺の森林の予防伐採について県民税事業により支援
- ▶ これまで32箇所、42haで整備を行い、防災・減災を図った。
- ▶ 基本計画の目指す「ライフライン保全整備箇所数（累計）」に寄与

地域資源を活用した商品やサービスの開発（やまの健康）

基本計画における目標値
累計15団体（R7末）



スギ・ヒノキのアロマオイル
（森林資源活用）



森林ヨガ体験
（森林空間活用）



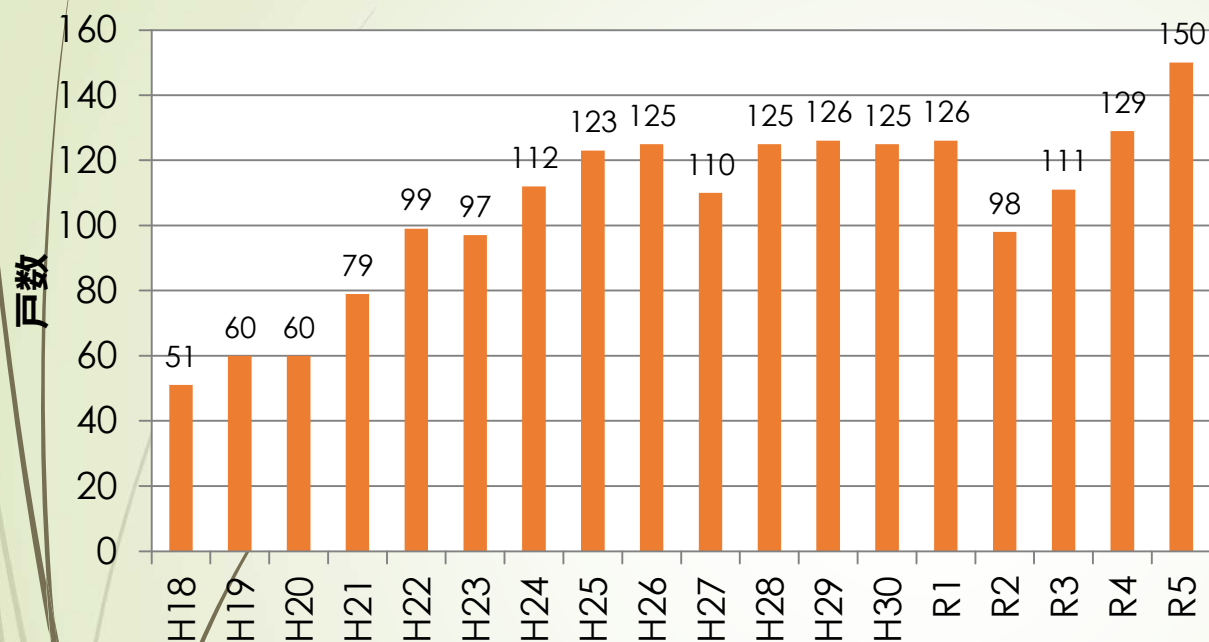
未利用材の地域内循環
（木炭の生産）



未利用材の地域内循環
（薪の販売）

- ・ 地域資源を活用した商品やサービスの開発に向けた取組について、県民税事業によりスタートアップの3年間について支援
- ・ 商品化し販売するなど取組が継続しており、農山村の活性化（やまの健康）に繋がっている。
- ・ 基本計画の目指す「地域資源の活用に取り組む森林・農山村団体の数（累計）」に寄与

びわ湖材を使用した住宅の助成戸数

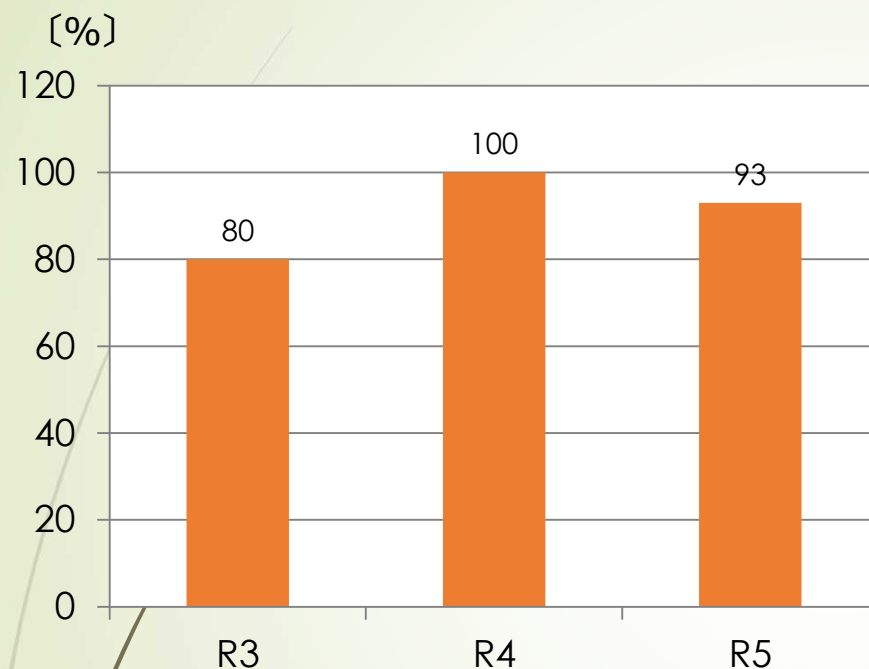


びわ湖材を使用した住宅

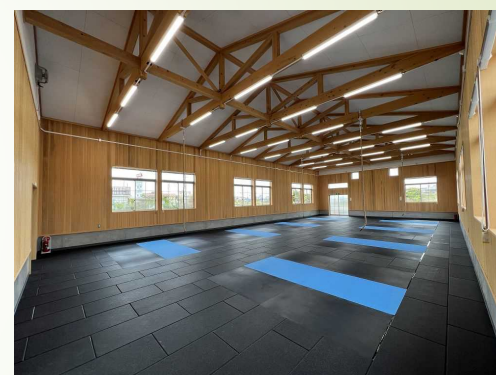
- ・木に触れる機会を提供するため、びわ湖材を使用した一戸建て住宅等の新築等を県民税事業で支援
- ・新築1戸当たり平均12m³の木材を使用し、これまで4万5千m³（原木換算）の県産材を活用。これにより、約15,000 t -CO₂※の炭素を固定（一般家庭約4,000世帯分の年間CO₂排出量に相当※）

※建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン（林野庁）による。材積の全てが製材・集成材、スギ・ヒノキ50%ずつと仮定して算出。

県施設の内装等木質化率



草津駅前交番



安曇川高校ウエイトリフティング場

- ・令和3年度以降、27件中25件において、内装等木質化を実施。うち6件で、一般材とびわ湖材との差額分について県民税事業を充当。
- ・基本計画の目指す「県の整備する公共施設のびわ湖材による内装等木質化率（R12目標：100%）」に寄与
- ・住宅やその他公共的施設への支援と合わせて、基本計画の目指す「びわ湖材製品出荷量（R12目標：115,000m³/年）」にも寄与

森林環境学習「やまのこ」事業の効果検証

やまのこ体験有無と森林との関わり

上段: 経験有 下段: 経験無

森林づくり活動（※）に参加している、または、参加したことがある ※木を植える活動、混み合った木を伐る活動（間伐）等

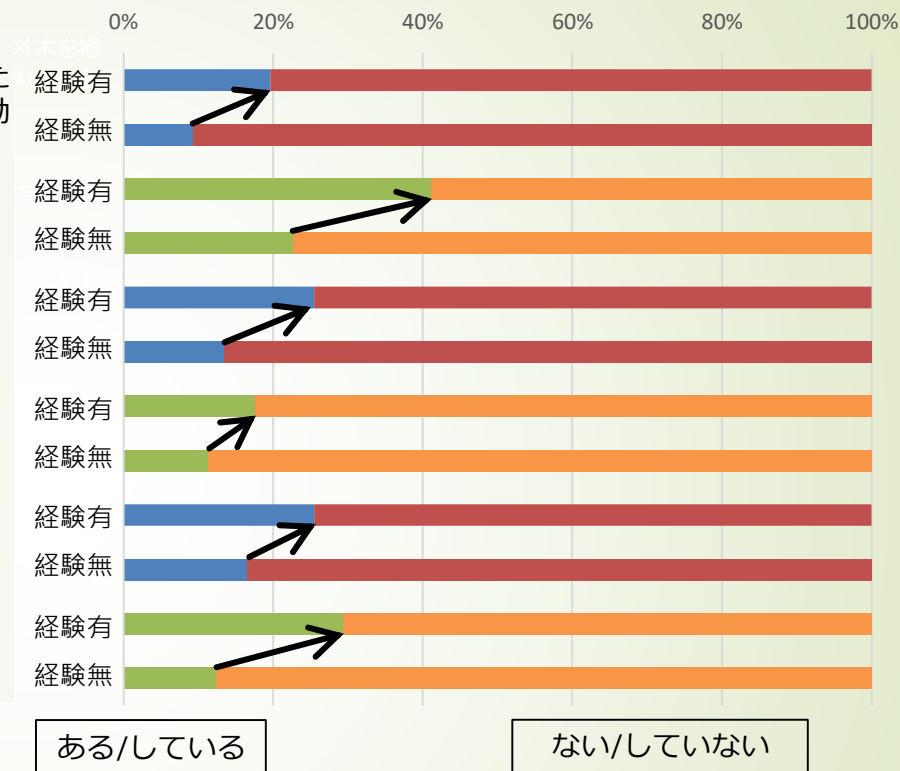
森林や自然に関わる話題に興味を持っている

キャンプや登山など森林や自然を楽しむアクティビティや森林や自然に親しむイベントへの参加、森林公園などへの訪問を行っている

森林や自然に関わる大学等への進学や就職を検討・希望していた、または、検討・希望している

積極的に木材を利用している

木育に興味がある



- ・ 県内の全ての小学4年生を対象とし、学校教育に位置付けられた、森林環境学習「やまのこ」を県民税事業で実施。
- ・ 平成19年度から実施しており、これまでの参加児童数は約22万7千人
- ・ 県内18～29歳へのアンケートでは、やまのこを「体験した」と答えた回答群の方が森林との関わりが深い結果となるなど、次代の森林を支える人づくりに寄与

琵琶湖森林づくり基本計画 進行管理および基本指標等達成度に対する点検・評価シート

Ⅰ：基本施策				R元(現状)	項目	R3	R4	R5	R5年度 達成率評価	R12 (長期目標)	達成率	R12に向けて の見通し	方針ごとの達成評価
1 多面的機能の持続的発揮に向けた森林づくり													
1-1 持続可能な森林整備の推進	111 除間伐を必要とする人工林に対する整備割合	-	目標値	90%	90%	90%	B	90%	71%		・奥地での針広混交林化やライフライン沿いの危険木除去など、多様な森林整備に取り組んだ。 ・また森林の境界明確化の基礎資料となる合成公図の作成等にも取り組み、より多くの森林整備を確保することができた。 【今後の方向性】 ・引き続き、森林経営管理制度の推進等により、除間伐等の森林整備を確保しつつ、林業適地の適切な把握と主伐・再造林の促進に努める。		
		54%	実績値	69%	67%	64%							
		-	達成率	77%	74%	71%							
	112 民有林の森林経営計画カバー率	-	目標値	10%	11%	11%	A	15%	60%				
		9%	実績値	10%	10%	9%							
		-	達成率	100%	91%	82%							
	113 合成公図作成面積(累計)	-	目標値	14,333ha	17,407ha	20,481ha	A	42,000ha (累計目標)	73%				
		11,259ha	実績値	30,774ha	32,456ha	33,744ha							
		-	達成率	215%	186%	165%							
1-2 生物多様性の保全	121 下層植生衰退度3以上の森林の割合 ※衰退度3は半数以上の森林で高木の後継樹が消失、傾斜地では約10%の森林で強度の土壌浸食が発生する衰退度 ※現状値：平成29年度	H29	目標値	-	10%	-	-	10%	67%	-			
		19%	実績値	-	15%	-							
		-	達成率	-	67%	-							
2 多様な主体との協働により進める森林・林業・農山村づくり													
2-1 多様な主体による森林づくりの推進	211 森林づくりに関する講座等への参加者数(累計) ※森林づくりに関心を持ち、積極的に関わる人材を養成するために、県や市町等が実施する講座や研修会等への参加者数	-	目標値	200人	330人	470人	A	1,400人 (累計目標)	51%		人や経済の循環を創出する「やまの健康」に向けた具体的な地域との関わりを創出し、農山村の活性化に取り組んだ。 【今後の方向性】 ・2022年全国植樹祭の開催を契機とし、引き続き県民等の森林づくりへの理解や参加を促進していく。		
		66人	実績値	253人	455人	753人							
		-	達成率	127%	138%	160%							
2-2 森林の整備・林業の振興と農山村の活性化の一体的な推進	221 「やまの健康」を具体化する企業等が関わる取組数(累計)	R4年度	目標値	-	-	13企業等	A	30企業等 (累計目標)	32%	-			
		11企業等	実績値	-	-	17企業等							
		-	達成率	-	-	131%							
3 森林資源の循環利用による林業の成長産業化													
3-1 活力ある林業生産の推進	311 県産材の素材生産量	-	目標値	131,000m3	142,000m3	144,000m3	B	165,000m3	61%		・施業集約化や間伐等の森林整備が目標に届かず、素材生産やびわ湖材の製品出荷について前年度より増加したものの目標には届かなかった。 【今後の方向性】 ・引き続き、効率的な素材生産の支援などにより、森林資源の循環利用の促進に努めることとし、あわせて公共施設の木造・木質化等を通じ県産材の需要拡大を図る必要がある。		
		100,800m3	実績値	99,400m3	98,800m3	100,900m3							
		-	達成率	76%	70%	70%							
3-1 活力ある林業生産の推進	312 林業就業者の平均給与	R3年度	目標値	-	-	3,513千円	A	4,300千円	97%	-			
		3,400千円	実績値	-	-	4,152千円							
		-	達成率	-	-	118%							
3-2 県産材の加工・流通体制の整備	321 びわ湖材製品出荷量(原木換算)	-	目標値	62,800m3	68,600m3	74,400m3	A	115,000m3	58%				
		64,750m3	実績値	61,820m3	65,700m3	66,800m3							
		-	達成率	98%	96%	90%							
3-3 あらゆる用途への県産材の活用	331 しが木育に親しむ人の数(累計)	R3年度	目標値	-	-	9,000人	A	30,000人	29%	-			
		2,226人	実績値	-	-	8,715人							
		-	達成率	-	-	97%							
3-3 あらゆる用途への県産材の活用	332 県の整備する公共施設のびわ湖材による内装等木質化率	R3年度	目標値	-	-	80%	A	100%	93%	-			
		80%	実績値	-	-	93%							
		-	達成率	-	-	116%							
3-4 ICTを活用した林業・木材産業の競争力強化	331 林業産出額	-	目標値	11.1億円	11.4億円	11.7億円	B	13.8億円	71%				
		10.8億円	実績値	8.1億円	9.2億円	9.8億円							
		-	達成率	73%	81%	84%							
4 豊かな森林を未来に引き継ぐ人づくりの推進													
4-1 林業の担い手の確保・育成	411 滋賀もりづくりアカデミーで技術習得に取り組んだ新規林業就業者数(累計)	-	目標値	6人	12人	18人	A	60人 (累計目標)	28%		・人材育成については、滋賀もりづくりアカデミーを中心とし、林業従事者の確保や技能向上に取り組んだ。 ・森林環境学習「やまのこ」や自然を活用した幼児教育・保育等に取り組んだ。 【今後の方向性】 引き続き、次代の森林を担う人づくりを進める。		
		-	実績値	8人	11人	17人							
		-	達成率	133%	92%	94%							
4-1 林業の担い手の確保・育成	412 林業就業者数	R3年度	目標値	-	-	250人	B	250人 (累計目標)	89%	-			
		243人	実績値	-	-	223人							
		-	達成率	-	-	89%							
4-1 林業の担い手の確保・育成	413 森林経営プランナー数(累計)	R4年度	目標値	-	-	2人	C	7人 (累計目標)	14%	-			
		1人	実績値	-	-	1人							
		-	達成率	-	-	50%							
4-2 次代の森林づくりを担う人々の理解の促進	421 自然を活用した幼児教育・保育に取り組む団体数(累計) ※幼児教育・保育に、森林など自然の中での活動を積極的に取り入れている団体	-	目標値	10団体	14団体	19団体	A	50団体 (累計目標)	31%				
		5団体	実績値	13団体	15団体	19団体							
		-	達成率	130%	107%	100%							

個々の取組みの達成率の評価 A：90%以上 B：70－89% C：50－69% D：30－49% E：30%未満

見通しの評価 上向き：単年評価Aかつトレンドが上向き 下向き：単年評価

琵琶湖森林づくり基本計画 進行管理および基本指標等達成度に対する点検・評価シート

Ⅱ：重点プロジェクト【5年間の取り組み】		R元(現状)	項目	R3	R4	R5	R5年度 達成率評価	R7(目標)	達成率	達成率評価
1 花粉の少ない再造林 促進プロジェクト	1-1 年間再造林面積	-	目標値	20ha	27ha	35ha	A	50ha	84%	B
		11.5ha	実績値	19ha	30ha	42ha				
		-	達成率	95%	111%	120%				
2 災害に強い森林づくり プロジェクト	2-1 ライフライン保全整備箇所数(累計) ※関係者との適切な調整のもと、予防的に伐採 処理等が行われた箇所	-	目標値	5箇所	10箇所	15箇所	A	25箇所 (累計目標)	128%	A
		-	実績値	11箇所	25箇所	32箇所				
		-	達成率	220%	250%	213%				
3 「やまの健康」推進プ ロジェクト	3-1 地域資源の活用に取り組む森林・ 農山村団体の数(累計)	-	目標値	7団体	9団体	11団体	A	15団体 (累計目標)	160%	A
		5団体	実績値	16団体	18団体	21団体				
		-	達成率	229%	200%	191%				
4 公共建築物木造化プ ロジェクト	4-1 県産材を活用する建築設計に関す る支援を行った公共建築物数(累計)	-	目標値	10件	15件	20件	A	30件 (累計目標)	70%	B
		-	実績値	10件	17件	21件				
		-	達成率	100%	113%	105%				
	4-2 産業用建築物における木造率 ※建築住宅着工統計における公共建築物と民間 非住宅の合計	-	目標値	6.3%	6.8%	7.3%	B	8%	81%	B
		5.8%	実績値	7.4%	7.9%	6.5%				
		-	達成率	117%	116%	88%				
5 木質バイオマス地域 循環プロジェクト	5-1 エネルギーとして利用される木質バ イオマスの量	-	目標値	23,200絶乾トン	24,900絶乾トン	26,600絶乾トン	A	30,000絶乾トン	96%	A
		21,497絶乾トン	実績値	31,475絶乾トン	28,155絶乾トン	28,682絶乾トン				
		-	達成率	136%	113%	108%				
6 木育活動促進プロジェ クト	6-1 木育指導者の数(累計)	-	目標値	5人	7人	9人	A	15人 (累計目標)	60%	C
		-	実績値	2人	6人	9人				
		-	達成率	40%	86%	100%				
7 林業人材育成プロジェ クト	7-1 滋賀もりづくりアカデミーにおける既 就業者コースで技能向上に取り組む作 業班数(累計)	-	目標値	13班	18班	28班	D	50班 (累計目標)	20%	E
		-	実績値	7班	8班	10班				
		-	達成率	54%	44%	36%				

個々の取り組みの達成率の評価 A：90%以上 B：70～89% C：50～69% D：30～49% E：30%未満